

Rotary 

国際ロータリー
第2620地区

御殿場 ロータリー クラブ 週報



御殿場
ロータリークラブ
モバイルサイト

<https://www.gotemba-rc.gr.jp/>

第2824回 例会プログラム

- 例会場 / 東山荘記念館 ● 開会点鐘 / 6:30
- ロータリーソング / 我らの生業
- 内容 / 早朝例会 勝又立雄様

会員慶事

- 会員誕生日 / 5月24日 長谷川雅也君

5/14の出席報告

会員数	出席計算に 用いた会員数	出席者数	暫定出席率	前々回の 確定出席率
51名	47名	42名	89.36%	100%

欠席者(5名) 勝亦敦志君 森田義彦君 小栗幹一君
高橋隆造君 田代明人君 ※やむを得ず欠席される方は、午前9時50分までにご連絡下さい。

会長挨拶

豊山 篤



本日、御殿場ロータリークラブとして初の女性会員、永田美奈幸さんの入会式を執り行いました。「元始、女性は太陽であった」と説いた平塚らいてうの言葉の通りの方のようにお見受けします。これからは同じクラブの仲間としてともに進んでいけることが大変楽しみです。そして、『初の』と『女性会員』という表現は今回で最後にしたいと思います。

アンコンシャスバイアスという言葉をご存じでしょうか。無意識の思い込み・偏見のことを表す言葉です。私たちが過去の経験、教育、周囲の環境、メディアの情報などを通じて無意識に蓄積してきた「パターン認識」のようなもので、良し悪しに関わらず、誰もが持っているものだそうです。

たとえばどのようなことなのか、代表的な例を調べてみました。

＊慈悲的差別：「小さな子供がいるから、負担の大きい出張は外してあげよう」と、本人の意思を確認せずに良かれと思って判断してしまう。

＊ステレオタイプ：「血液型がA型だから几帳面だろう」「理系出身だからコミュニケーションが苦手だろう」といった属性で判断する。

＊確証バイアス：自分の仮説（例：あの人は仕事ができない）を裏付ける情報ばかりに目が向き、反対の証拠（例：実は成果を出している）を無視してしまう。

＊ハロー効果：何か一つ優れた点（例：高学歴）があると、性格や能力などすべてが優れているように見えてしまう。

以上のようなことだそうです。なんとなく思い当たる気がします。

ではなぜこれが問題になるのか。

アンコンシャスバイアスそのものが「悪」というわけではなく、脳が情報を素早く処理するために必要な仕組みだそうです。しかし、それが行き過ぎると以下のようなリスクが生じます。

＊人間関係の歪み：相手を正しく理解できず、コミュニケーションに齟齬が出る。

＊意思決定のミス：採用や評価、重要な判断において客観性を欠いてしまう。

＊多様性の阻害：特定の層（性別、年齢、経歴など）が活躍しにくい環境を作ってしまう。

それでは、どのように心がけるとよいのでしょうか。

＊「自分にもある」と認める：まずは自分の中にバイアスがあることを自覚する。

＊一度立ち止まる：直感的に「こうだ」と思ったとき、「それは事実か？それとも思い込みか？」と一呼吸置く。

＊多角的な視点を持つ：自分とは異なる背景を持つ人の意見を聞いたり、客観的なデータを確認したりする。

少しずつ自分の思い込みを顧みたいですね。

このように改めて文章にしてみると、ロータリークラブの「四つのテスト」

- 真実かどうか
 - みんなに公平か
 - 好意と友情を深めるか
 - みんなのためになるかどうか
- にも当てはまるようです。



会長挨拶は
こちら

4/8の メーキャップ

8月23日	富士山一斉清掃	込山正一郎君	4月8日	北海道Eクラブ	森田義彦君
11月1日	オープンハウス	長谷川雅也君	4月13日	北海道Eクラブ	梶 喜朗君
4月3日	せせらぎ三島	鈴木榮一君	4月15日	北海道Eクラブ	神谷高義君
4月3日	北海道Eクラブ	白井良太君	4月15日	北海道Eクラブ	斉藤礼志君
4月6日	北海道Eクラブ	池上 司君	4月18日	北海道Eクラブ	橋本喜市君
4月7日	北海道Eクラブ	根上眞一君	4月22日	北海道Eクラブ	高橋隆造君
4月8日	愛知友愛	豊山徹也君	4月23日	北海道Eクラブ	勝又博文君

UNITE FOR GOOD
よいことのために
手を取りあおう

次回
5月28日の
例会

★東山荘記念館
★12:30
★御殿場市都市計画課
担当職員様 卓話

青少年奉仕月間卓話



エビスLLC
代表社員

戸栗 哲平 様

皆様こんにちは。エビスLLCの戸栗哲平でございます。本日はこのような貴重な機会を頂きありがとうございます。本日のテーマ“青少年育成”において重要である人格形成に必要なのは、誰と何をしたかという思い出を構築することだと考えています。私事ですが、幼少期に御殿場RCのクリスマス会に参加した記憶を今でも鮮明に覚えています。見たことのない豪華な料理、色鮮やかなデザートやフルーツポンチ等がピュッフェ形式で提供され心が躍りました。更におめかしをしてパーティーに参加すること自体が衝撃的でした。そのような中、父が楽しそうに色々な方達と交流している姿が一番印象に残っています。今に至るまで色々な相談に乗ってくれ指針を示し、私の下支えになってくれた父との思い出を振り返りながら話をさせていただきます。

小中学生の頃、色々な場面で父から応援してもらった思い出があります。運動会の徒競走において、白線ギリギリまで身を乗り出し「てつ！行け行けー！」と、人目を気にせず大声で応援してくれました。これは私だけに限らず兄弟全員同じ体験をしています。子どもながら非常に恥ずかしく、運動会にだけは来ないでほしいと兄弟全員が願ったものですが、大人になった今では、兄弟全員大声で身を乗り出して応援してしまいます。また、私が中学生時代に応援団長を務めた際に、保護者席よりも近い生徒席にドカッと座り見守ってくれたり、高校入学時は面接練習を何度もしてくれたりしました。これらの体験によって自然と人を応援する土壌が養われ

たと思っています。

大人になってからよく言われた言葉は、「遊びごとこそ真面目に」でした。これは祖父から教わったとよく言っていました。この言葉が一番身に染みだ出来事はエビス本社での蕎麦会で、渡辺俊彦先輩を始めとする多くの大人達が、蕎麦粉や出汁の材料、打ち方、ゆで方などを探究し、皆わいわいと笑顔でいたことです。出来た蕎麦はとても美味しく感動したのも覚えています。振り返ると友達作りの在り方はこういうものなのかと思いました。

結婚し子どもが出来てからよく言われたことは「どれだけ喧嘩しても一緒に布団で寝ろ」でした。子ども達は非常に敏感で大人達をよく観察しているからこそ、円満な家庭を築くにはとても重要だと教えられました。

これらのことから、思い出というのはワッと驚き、楽しく、嬉しくさせる事柄を盛り込むことが重要であると考えています。父が行っていた地域行事においてもこれが当てはまります。私が経験したものと、小学校の夕涼み会で育てたホテルの観賞会、おやまDEどんぶらこの開催、森の腰でクリスマスケーキを頼めばサンタクロースとトナカイが自宅に来てくれるなど、今思えば地域に育てて貰ったと感謝しております。父もまた地域に育てて貰えたからこそ私達にこのように思いのバトンを引き継ぐことが出来たのではないかと考えています。

結びになりますが、一人の親として、地域のリーダーとして必要な在り方として「大事にしたい人の大事にしている人・もの・ことを大事にする」ということが非常に重要であると考えています。親、家族、兄弟、地域の発展に寄与することをお約束し、今後も邁進してまいります。本日はありがとうございました。



司会
込山正一郎君



出席報告
永木栄太君



ソングリーダー
大胡田明寿君



会員誕生日
林 泰博君



新会員
永田美奈幸君

5/14の
スマイル

先週5月7日7人目の曾孫が生まれました。女兒です。この子が11歳になると私は〇〇歳です。無理ですね。 **稲葉博之君**

Rotary 国際ロータリー第2620地区

御殿場ロータリークラブ

○例会日/木曜日
○例会場・事務局/YMCA 東山荘
静岡県御殿場市東山1052
電話/0550-83-1133 FAX/0550-83-1138
<https://www.gotemba-rc.gr.jp/>

会 長 ○ 豊山 篤
幹 事 ○ 勝又 厚
会報委員長 ○ 勝又 淳